

令和元年度第2回総合計画策定ワーキングチーム会議概要

日時：令和元年6月3日（月） 午後1時30分から4時30分まで

場所：消防本部大会議室

1. 本日のワーキング全体会について企画課説明

第2回ワーキンググループで行う内容について、事務局（企画課）より説明した。

2. 協議事項

（1）基本目標・取り組み内容について発表

資料「基本目標・取り組み内容シート」について、各分科会から検討結果を説明した。

【基本目標1】

- ・資料に示した基本施策のほかに、「雨水排水施設の整備充実」を追加する。
- ・災害への対応ということで、消防や災害対策に関するものとして、防災減災、救急について記述した。中段は、交通安全や消費生活も含めて安全を意識して記述した。
- ・下段で、浸水対策として雨水排水施設の整備について記述した。

【基本目標2】

- ・エッセンスとして意識したのは、基本目標に掲げた「じぶんらしく」という部分で多様性を認める社会を目指すことを入れている。
- ・基本施策にある「人権と平和の尊重」は社会福祉課で所管しているのに、健康福祉の分野に入れているが、内容を考えると健康福祉分野が妥当なのかどうか検討が必要。

【基本目標3】

- ・現在の基本計画では子育てに関する施策は、健康福祉の分野に含めていたが、第四次総合計画では、「子ども」の分野を新たに設け、これまで健康福祉に含

めていた子育て施策と教育を含めることにした。

- ・前回まとめた時点では、「発達支援」と「特別支援教育の充実」という2つの取り組み内容を示していたが、「配慮を必要とする子どもと家庭への支援」として1つにまとめた。
- ・③については、前は「ふるさと教育（キャリア教育等）」として整理していたが、「ふるさと教育」という言葉になじみがないという指摘を受けたこと、事業内容を見ると地域の特性を生かしたものの、地域ならではの取り組みが多いことから、「地域で育む子育て・教育」に変更した。

【基本目標4】

- ・生涯学習の推進計画をベースに記述している。基本施策の「歴史遺産の保存と活用」では「歴史遺産」というと大きくなるが、文化施設、図書館にある資料、人材も含め歴史遺産とした。

【基本目標5】

- ・道路や公共交通といった交通インフラと、住環境整備、上下水道の整備について記述した。
- ・雨水排水のための施設整備については、基本目標1に変更した。

【基本目標6】

- ・主に手賀沼課とクリーンセンターで所管する事業に、公園緑地課で所管する緑地保全に係る事業を加えたものが基本施策となっている。
- ・基本施策「②廃棄物処理・リサイクルの推進」と「③ごみの減量の推進」で一番大切なのはごみの発生抑制であるため、「ごみの発生抑制と適正な処理」として施策を1つにまとめる。

【基本目標7】

- ・商工業の振興と企業誘致、農業の振興、交流人口の拡大についての取り組みをそれぞれ要約し、基本目標とした。

【基本目標8】

- ・18歳以上の市民がわかりやすいようにということ意識し、行政を「私たち」と表現した。また、「皆さん」というわかりやすい言葉をあえて選んだ。

- ・行政だけでは担っていけない地域の課題を市民が主体となって解決していくことが大事であり、さらに、市民活動団体の多様な力を借りて取り組んでいく必要があるため、「地域コミュニティの支援」と「市民活動の支援」の2つの基本施策とした。

【基本目標 9】

- ・基本目標の前段では、基本施策に繋がる社会環境の変化を具体的に挙げている。
- ・希少な行政資源として、人やお金をイメージして効率的・効果的に活用していく。
- ・持続可能な自治体経営については、事務事業の廃止なども視野に入れている。
- ・市民の満足度向上は、行政が目指すものとして、「住民福祉の増進」をわかりやすく表現した。
- ・これまで基本施策としていた「シティセールスの推進」を「定住化の促進」に変更した。

【今後の進め方について】

事務局で各分科会と調整を図りながら文章を統一していく。

また、基本施策についても、目的別という視点で事務事業の整理を進め、各分科会と調整を図っていく。

(2) 少子高齢化・人口減少・公共施設の老朽化・財政難などの課題に対する今後の取組みについて

現在実施している事業にとらわれず、様々な課題に直面する中で10年後、15年後の我孫子市が持続可能なまちであるためにどのようなことに取り組んでいく必要があるか、各分科会でグループワークを実施した。

【第1分科会】

- ・少子化に伴い、老朽化する学校の統廃合はやむを得ないが、市営のインター

ナショナルスクール、進学校や国際交流のできる学校の誘致など特色のある取り組みを行うことで、子どもが集まってくると考えられる。

- ・人口減少については、外国人の受け入れ、農地付きや温泉付き、自動車付きといった付加価値のある宅地の供給、また、東側地区については、成田線の利便性向上、東武線の延伸、次世代型路面電車システムの導入、バスの運行など公共交通の抜本的な改革が必要と考える。
- ・公共施設の老朽化は、子ども施設の統廃合、施設の長寿命化、ストックマネジメントの推進などが考えられる。
- ・財政難については、一般的な意見ではあるが、施設の廃止、工業系土地利用、公共料金の改正、またユニークな意見では、実現が可能性かは別として宝くじの発行、実現公営カジノの運営などが考えられる。

【第2分科会】

- ・活用頻度の少ない施設の廃止を含めた、施設の集約化。
- ・体育館を中心として、介護予防など様々な人が集える施設の集約化。
- ・増加している学校の余裕教室の活用を更に進める。
- ・不便な場所にある施設が多いことから、他市のショッピングセンターも含めた施設を循環するコミュニティバスを運行することで、人が集まる施設になるのではないかと考える。
- ・施設を活用したサービスや市民活動の担い手不足といった状況がある。シニアの方はサービスを受ける方、介護を受ける方と積極的に活動したい方に二極化しており、元気シニアの方に活躍していただく。市民活動団体も若い世代への新陳代謝が難しい状況なので、シニア世代の中で、元気な人たちで新陳代謝していければよいと考える。
- ・財政難への対応では、はしご付き消防自動車の購入時のように、クラウドファンディングの活用、手賀沼を活用した水上アクティビティの誘致、市内に多くある少年野場を活用した大会運営などにより交流人口を拡大する。

【第3分科会】

- ・学校教育の充実、特色ある教育や魅力ある学校づくりが必要。小中高一貫した教育が出来る公立の学校があると良い。
- ・療育システムの充実として、支援が必要なお子さんの発達の支援や教育の相談、療育の支援の充実を図る必要がある。
- ・公共施設の老朽化については、学校施設も30年、40年経過しているので、優先順位をつけて、長寿命化や統廃合の検討をしていく必要がある。
- ・これらの特色ある、魅力的な施策をPRし、子育て世代の方の移住定住に繋げるほか、人口減少に合わせた施設の在り方を検討し対応していくことで税収の確保、財源の確保に努めていく必要がある。

【第4分科会】

- ・少子化が進めば学校の統廃合が必要である。また、授業も工夫する必要があると思われる。
- ・人口減少が進めば、市役所の職員も減らすことが考えられるが、人口減少に伴い市の業務が減るわけではないので、時間外勤務を防ぎ、市民サービスの質を低下させないためには、事業仕分けや事業の優先順位付けが必要となってくる。
- ・AIを導入した事務の効率化なども必要になってくる。

【事務局】

この内容を集約し、今後の行政の課題等について更に検討していくスケジュールを示す。今日掲げた4つの課題は計画を策定するうえで切り離せないものであることから、部署や分野に関わらず常に念頭に置きながら計画策定を進めていきたい。また、施設の統廃合や事業仕分けなど、課題への対応だけでなく、我孫子市に住みたいと思っただけにはどうすれば良いかという視点も忘れないようにしたい。

(3) 基本目標9の位置付けについて

事務局案として、9つの基本目標を掲げ、並列に示しているが、基本目標9の「将来を見据えた自治経営」については、主に行政運営や財政運営に関する施策が位置付けられることを想定しているものの、これらはどの事業にも取り入れていくべき考え方でもある。他の自治体では、そういった施策について、全体に関わるものとして示している事例もある。また、策定委員会でも、基本目標には「まちづくり」に関するものを位置付け、行政運営や財政運営に関する施策は基本目標全体に関わるものとした方が良いという意見もあった。ワーキングチームとしての意見を確認したい。

【第1分科会】

- ・ほかの基本目標と同様に「まちづくり」という表現を用いれば、基本目標の1つとして他の基本目標と並列に示してもいいと考える。

【第2分科会】

- ・基本目標9の施策のうち、全体に係る施策については特出ししてもいいと考える。ただし、基本目標9の全ての施策が全体に係るものではないため、全体に係らない事業については、他の1から8の基本目標に振り分け、どうしても振り分けられないもの（「定住化の推進」など）は、基本目標9に残してはどうか。また、その際は「将来を見据えた自治経営」ではなく「将来を見据えたまちづくり」が適切と考える。

【第3分科会】

- ・色々な意見が出たため、分科会としての集約が難しい。

【第4分科会】

- ・自治体経営については、基本目標1から8の全ての施策に横断的に関わり、

施策を推進していく上で取り入れなければならない「事業の効率化」などの基本的な視点を示しているものである。全ての施策に係るものか、精査した上で、特出ししたほうが良いと考える。

【事務局】

- ・今後、各分科会の意見を策定委員会に提示して検討し、その結果を総合計画審議会に諮り意見を伺っていく。また、施策体系については、事業の分類など、まだ整理が必要な部分があるので、引き続き検討していただきたい。

(4) その他

先日、策定方針を議会へ示したところ「スケジュールがかなりタイトである。スケジュールを延ばして、より多くの市民の意見を聞き、職員でしっかり作り込みをしていただきたい。」というご意見をいただいた。事務局としても、スケジュールを延ばし、基本目標をはじめ、市の方針や考え方に合った文章のニュアンスなど精査したいと考えている。これから事務局でワーキングチームや所管課に細かい確認などをしながらすり合わせをしていきたい。